

愛隣館研修センターニュース

第63号

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail :airinday@sunny.ocn.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

2004年度社会福祉法人イエス団京都ブロック

2005年2月16日-20日

沖縄研修報告

一体ここはどこなんだ？「戦場」じゃないか！！
心臓がバクバクする。緊張感が高まり、思考はより研ぎ澄まされる。微動だに出来ない。「爆弾」が的確に自分自身に突き刺さってくる。「爆撃」の正体は、沖縄の辺野古（へのこ）で非暴力抵抗を貫いておられる平良夏芽（たいらなつめ）さんのことば一つ一つであった。

沖縄に来るのは実は三度目である。三度目の正直ではないが、しかし、これは、ここはどこなんだ？

何も知らない自分。日々新聞やニュースで知らされる情報だけを真実として、生きてきた自分の存在自体が危うくなっていく。知らされることのみで満足し、今現実で起こっていること、おこなわれていることを知らない。イラクの「サマーワ」は知っているが、日本の「辺野古」は知らない。沖縄は、日本か？

↓途中まで組み立てられてしまったやぐら

このやぐらに早朝から夕方まで基地建設阻止のために一日中しがみつく。

手をねじられ海に突き落とされても「平和をつくりだすための運動」であるのであくまでも非暴力抵抗を貫いている」

沖縄は、確かに現在「日本」の県の一つであり、日本であるといえる。しかし、歴史的に見れば元々日本ではない。かつて琉球王国と呼ばれ、江戸時代に薩摩藩の侵略を経て明治の琉球処分によって沖縄県として日本に組み込まれた。しかし、逆に今我々が日本だと思っているこの「日本」の方が、思いこみに過ぎないのではないかと？真実を覆い隠されたまやかしの国。都合の良いことしか知らされない、我々が生きていていると思っている「日本」

の方が偽りではないか。我々とは生きていく時間軸が明らかに違う。「戦後」、いやこれも沖縄にとっては正しい表現とは言い難い。

今から60年前の1945年、日本で唯一の地上戦となった沖縄。県民の4人に1人が犠牲者となり、その数は日本軍の戦死者をも上回る。集団自決ではなく、強制集団死に見られる悲劇。アメリカ軍による占領、基地建設、その基地はいまだに在日米軍全基地の75%が居座ったままである。

1995年の米兵による少女暴行事件や昨年のヘリ墜落事件（冰山の一角）に見られる、今なお続いている基地問題。沖縄において「戦後」はなく、米軍は沖縄の基地からベトナム戦争、湾岸戦争、アフガニスタン攻撃、そしてイラク戦争へと人殺しをおこなっている。

本質的には何も変わってはいない。その時間軸の中で生きていく沖縄と、「戦後60年」「世界で最も豊かな国の一つ」「平和な国」「国際貢献」という偽りの美辞麗句で生かされている違い。自ら感じ「生きていく」のではなく、生かされているものとの違い。辺野古、沖縄の現実を通してこそ本当の今の日本の真実を知り、感じられるのではないかと。

美しい珊瑚礁とジュゴンが暮らす辺野古の海。そこは、ニライカナイ（海の彼方にある異世界の極楽）につながると信じられている。今まさにそこに、また新しい基地が作られようとしている。それを食い止めようとする命懸けの闘い、いのちと生活を守る闘い、そこに少しでも触れること、出会うことは自分自身への・・・。

この研修に参加させて頂いたことに感謝し、一人でも多くの方がこの辺野古、沖縄の地に行かれ、自らの目で見て感じられることを願います。

京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」
太田正人

重心通所B型「シサム」活動報告

『スヌーズレン』ってご存じですか？

寒かった今年の冬も、日々暖かくなったり、寒くなったりを繰り返しながら、だんだん春に近づいていますね。デイケア・シサムのメンバーは、この寒い冬を休まず元気よく通ってくる人もいれば、正月明けは生活リズムが崩れてしまい朝起きられずに休む人、体調不良で休む人と、それぞれマイペースに過ごしていました。 暗い部屋で、ほのかな光を囲んで →

みなさんは『スヌーズレン』という言葉をご存じですか？私は何のことだか、さっぱり知りませんでした。『スヌーズレン』とはオランダ語で「くんくんにおいをかぐ(スヌッフレン)」と「ウトウトする(ドゥーズレン)」という言葉を組み合わせた造語です。

↓頭の上のなんとも不思議なライト

天井は電飾チューブで…↓

心地よい感覚刺激(光、音楽、感触、香り)を通して楽しみながらリラックスをすることだそうです。デイケア・シサムでは部屋を暗くして、ヒーリング音楽を流し、ろうそくの光、電飾チューブの光、アロマの香りなどで『スヌーズレン』の環境を作りました。普段とは違った表情や生き活きとした様子を見せてくれました。

暗い部屋での綺麗な光に集中する人、香りに口をもぐもぐする人。どのメンバーも表情・呼吸がリラックス。簡易な『スヌーズレン』でしたが、スタッフも一緒に楽しむことができました。



新潟での出会い...

イエス団新潟中越地震救援スタッフとしていってまいりました

2004年10月23日に発生した新潟中越地震で被災された方々のために、私たちが所属する社会福祉法人イエス団は震災のボランティアとして、主に仮設に住んでいる人や子どもたちの訪問を中心に2005年1月より活動開始。十日町教会を拠点とさせてもらいながら、イエス団に連なる職員等で3月末まで継続した活動を展開中。

実際に私が活動に携わったのは、2005年3月1日-7日。その内3日間は、川西町にある「さまざまな理由で学校に通うことに大変な思いをしている小・中学校生のため」の“にこやかルーム”(適応指導教室)を訪問。十日町教会の新井純牧師の働きかけの下、「広くいろいろな人との交流を通して豊かな幅広い人間関係を体験してほしい」というご家族の思いとが繋がり、今回の訪問へと結びついた。

“にこやかルーム”では今回の形のようなボランティア訪問は初めてであるにもかかわらず、3日間で11名のメンバーと出会い、自然な流れの中で遊びや障子の張替えなどを通して、交流の時を持たせていただいた。

「受け入れられることで自信を取り戻し、自然に成長する子どもたち」に添うような形での、小海貴代美さん(自称、指導しない指導員)の関わりは、信頼関係をつくることの大切さを強く感じるものだった。

また、車で移動中、道を尋ねようとしたただけであるにもかかわらず、「汁飲んで行きな」と地元の人たちの集まりに交わらせてもらったり、たったわずかな雪かきの時でさえ、「ありがとう」と声をかけていただいたりと、震災をきっかけにさまざまな出会いの場があり、その大切さ、そこで生じるプラスのエネルギーがあることを感じさせられた。

今後ともここで感じたことを忘れず、一つ一つの出会いを大切に、日々の活動に取り組んでいきたいと思う。(辻)

スタッフ紹介です

愛隣デイサービスセンター
永江孝志

『もう春です。』『やっとな春だ』『まだ春か!?!』みなさんいかがお過ごしでしょうか?初めまして。昨年7月半ばより愛隣デイサービスセンターに来させていただいて早8ヶ月を数える私、永江孝志にとりましてはやはり『もう春です』がしっくり来るのでございます。右も左もわからぬ福祉の世界にポコンと入り込み、冷や汗・油汗かきかきパンツのゴムもはっちゃけるも気づかず、度々の台風に押し戻されつつやっとなまいました。新年度の始まり、幾度と迎える春の中でも今年はいっそう感慨深いものになるのを禁じえません。

そもそも、私永江孝志が介護・福祉の文字をチラ見するようになったのは、父の脳梗塞がきっかけでした。それまでは、随社会的な生活(ここでは詳しく申しませんが)を送っていた私に当然冷たいまでの視線を投げかける父、その眼光に遮を掛けながらも確実に光を通す母、そしてあくまでも影に入ろうとする私、という図式が出来上がっていました。この何年にも及んで刻まれた図式を皮肉にも父が脳梗塞で倒れたことによって、いとも簡単に解体させることになろうとは、愕然といたしました。とうとう私の所にもこんな日が来たか!抜け落ちた腰を捜すかのように見舞うしかできない日々。ポッカリ空いた実在感のまま世界中の怠惰を憎みました。数週間もすると父は快方に向かいましたが、私は同じ曲線を描くことなく、なんとか画面から消えまいとするのがやっとなでした。

そんなある日、病室で父の友人と出くわしました。長い付き合いらしいその初老の男性は私にかまう事無く、照れ臭そうに笑う父にだみ声でしゃべり続けました。一部始終を聞いていた私は忘れかけていたことに気づき病院を後にしました。

2ヵ月後、父は退院し幸い前程の仕事量ではないにせよ職場に復帰することができました。今では私に対する父のやわらかい笑顔がみられるようになりました。思い返せば私に座右の銘ができてからでしょうか。そんなたいそうなものではございません。みなさんもいつか聞いたことがおありでしょう。『困ったときはお互い様』って。

京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」
水久保淳

支援センター「あいりん」で事務員やっています。どーも、水久保です。まあ、事務ということで、相談員が動きやすいように、データの処理をしたり、そこから得た情報を整理して保管したり、そういうことをしています。で、事務ってのは、事務作業のみかっていうと、そんなことはなくて、利用者さんとか、他のスタッフとの関わりもあります。

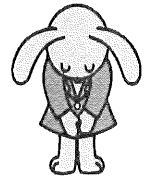
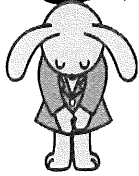
相談員ではないのですが、相談に来られた人たちに、直接的ではないにしても力になればいいなと思って、相談員ができるだけ動きやすいように、「周辺を整える作業」これ日々やっています。気持ちよく仕事ができるように、配慮してくれる仲間や、利用者さんの前向きな気持ちに、いつも助けられています。この場を借りて、感謝。ありがとう。

2005年1.2.3月の活動

- 1/15 青木恵美子さん講演会 タイ北部チェンマイにある、HIV 感染者及びエイズ患者のためのシェルター、バーンサバイ(タイ語で平安な家の意:2002年7月7日設立)が今日に至るまでのお話を伺いました。青木さんが出会ってこられた方々、それぞれの背景に合わせ、“相手と正直に向き合う”ことを大切に、“必要は満たされる”と感じながら歩んでおられるとの講演内容に、私たちは勇気付けられ、胸打たれどおしでした。
- 1/19 愛隣館施設・事業間連絡会議 イエス団京都ブロック内の愛隣館としての今後を考える会です
- 2/11 2・11子ども集会-平和に向かってうんとこしょ 日本キリスト教団紫野教会にて開催!100名を超える老若男女が共に「平和をつくりだす」ために集いました。
- 2/12 榎本恵さん沖繩講演会 阿波根昌鴻さんの平和を実現するための非暴力運動の精神を学びました。恵がなあ…
- 2/28 グランドデザイン案勉強会 支援センター「あいりん」主催の学習会その①→ A 君わからんからって寝すぎ!
- 3/1 バリアフリーネットワーク&京都精神障がい者の人権を守る会共催-医療観察保護法案について
By 大杉光子弁護士 7月にも施行が目論まれている法案についてわかりやすく解説をしていただいた。にもかかわらず、いびきかいて寝てる輩があ〜!宇治小事件と法案についてのからくりがはつきりしてきました!今後、施行絶対阻止闘争のうねりを伏見から起こしましょう!
- 3/12 朱雀ロータリークラブ社会奉仕フォーラム 鳥羽高校生39名とロータリークラブの会員さんと「障がい者と共に生きる」のテーマの下、様々な体験実習と森ダイ主任のお話を聴きました。鳥羽高生の熱心さに脱帽!

ご支援ありがとうございました

今後ともよろしくお願い致します



今年度も多くの皆様に支えられて活動を続けていくことができました。
感謝を込めてお名前を載せさせていただきます。

愛隣館研修センター献金者

《月定会員》

安那芙美子,明石邦子,石井寿子,後宮昭子,姥ヶ崎雅子,大原尚美,大原尚美,金子町子,片山絵里,河原崎美恵子,加藤朋子,神戸萌子,君村千代子,木村春江,木村耕,木全由喜,北園由希子,岸佳津子,高下恭子,小北素子,五藤薫子,澤村二美,信濃すゑを,塩谷幸代,菅清,高垣縁,谷岡妙子,高岡美奈子,刀根史恵,成瀬正代,中村直子,内藤仙太郎,西岡景子,西村美枝子,西隆行,林栄子,引原勝美,菱田万里子,藤井美恵子,藤田恭子,福田尚子,藤井幸子,堀尾勝世,松井知恵,水野康子,壬生輝子,三谷昭子,村上頌子,村川知子,森弘・雄子,毛利元美,森多美枝,家形日出,安野喜仁,山崎希充子,山下めぐみ

(56名 566,400円)

《指定献金

(夏期特別、クリスマス、年会費)》

李宋樹,今井恵,今井洋,織田雪江②,刈ヅン電気商事(株)山口政紀,加治木政子②,勝山久仁子,川尻良雄,川田よしみ,喜多明子,木本雅子,北岡一道,黒田絢,小柳玲子②,小西望,近藤孝子,小泉真紀子,近藤和江,後藤薫子,後藤和雄,坂野由枝,清水麻里②,シェパネンクラウス,杉原輝明,田中工務店田中俊介,田村充,中垣陽子,永島正人,永島美耶,中島成和,永島美耶,仲田恭子,丹羽克吉②,朴実・清子②,平井徳子,福田幾子,宮本真希子②,宮田誉夫登貴子足立 こそえ,後宮昭子,柿本真介,北村恭仁子,木村耕,木安,北野光晴,君村千代子,近藤喜美子,坂田幸作,静谷博子・泉,富増献児②,長尾文雄,はたじゅんこ,林川忠男②,林栄子,原田恵美,林栄子,広瀬悦子・芳行,藤井美恵子②,黛共子②,真野晶,松井千恵,溝口修造・智之②,村川知子,恵大一郎②,安野喜仁②,祐村明,YWCA,藤田三郎

(75口 572,600円)

赤とんぼ(小中、宮坂、寺田、福田)②,豊島ナオミ荘,希望ヶ丘教会,同志社女子中・高等学校,ぶどうの木保育園,聖浄保育園 吉田雅美,一麦保育園,友愛幼児園,坂出育愛館,刈ヅン電気商事(株)山口政紀,所沢教会,京都丸太町教会,同志社教会,彦根教会,丹波新生教会,みどり野保育園,市川三本松教会,愛之園保育園,和田山地の塩伝道所,洛南教会,須磨教会,京都復興教会,近江兄弟社学園,錦林教会,武澤信夫・直子,大津教会,琴浦教会,大和キリスト教会支援委員会,田園江田幼稚園,城陽教会,東神戸教会,洛陽教会,同志社高等学校,野方町教会,桜美林学園チャプレン室,平安教会,軽井沢追分教会市内地区女性部,ふうせん文庫,世光教会,世光保育園,伊藤珠算教室,八幡ぶどうの木教会,民商ユークン支部

(45口 486,000円)

2004年3月15日現在
敬称略

尚、記入に際しましては万全を期しておりますが万が一記載漏れがありましたらご一報ください。

★お知らせ★
▽愛隣館研修センターは、三月二十九日～三月三十一日まで年度末休館日とさせていただきます。

★編集後記★
▽ついにページを増やすことになりました▽愛隣館研修センターがどんなところか▽誰のためにあるのか▽何を大切にしているのか▽どんな人がいるのか▽少しでも皆さんに知ってもらえるよう、これからも工夫に工夫を重ねニュース発行に努めたいと思います(さ)

▽沖繩に研修に行ってきた▽私たちが沖繩で平和について学ぶことはたくさんあります▽これまでも、多くの者が「平和学習」で沖繩を訪れました▽しかし、沖繩の実情は変わっておりません▽それどころか、新たな基地建設が強引に押し進められようとしています▽私たちにできることは何なのか▽辺野古の非暴力抵抗の運動に心が震えました▽現地での闘いには直接加わることができないもどかしさを感じます▽しかしながら、私たちは私たちの現場から平和のメッセージを発信することで連帯できないでしょうか▽福祉切り捨ての国の方向性と基地の問題は密接に絡んでいるといえるでしょう▽又チドウタカラ▽命こそ宝(ひ)